

平成24年産米取引の状況について

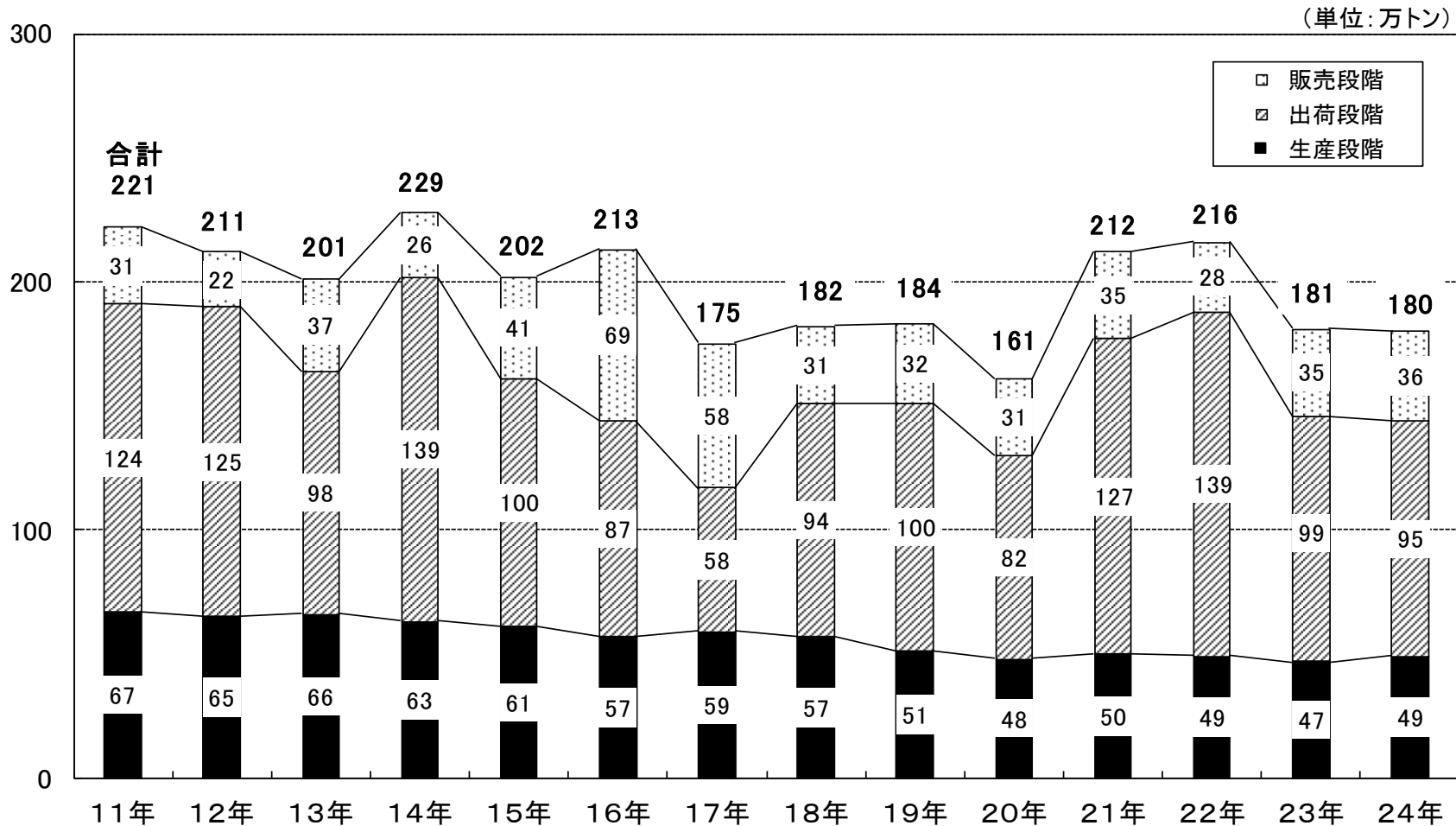
平成 2 5 年 5 月

農林水産省

目 次

1	民間流通における6月末在庫の推移	1
2	政府備蓄米の6月末在庫の推移	2
3	政府備蓄米の在庫の状況	3
4	平成23/24年及び24/25年の米の需給見通し	4
5	25年産米の政府備蓄米の買入について	5
6	平成24年産水稻うるち玄米の1等比率	6
7	平成24年度のSBS米の輸入入札状況	7
8	米の相対取引価格の月別全銘柄平均の推移(平成18年産～24年産)	8
9	産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成24年産)	9
10	平成24年産米の相対取引価格(平成25年3月分)	10
11	産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成23年産)	11
12	米の流通の状況(16～22年産米)	12
13	家庭における米購入量等の推移	13
	(参考) 米の世代毎の消費動向の変化について	16
14	24年産米の流通状況について	17
	(参考1) 東日本大震災を踏まえての災害時に対応した備蓄の検討	18
	(参考2) 米の先物取引の試験上場の動向	19

1 民間流通における6月末在庫の推移



資料: 農林水産省調べ

注: 1) うるち玄米及びもち玄米の値である。

2) 各年の民間在庫量において、

① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の数量である。

② 平成15年については、

・販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量である。

・出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。

③ 平成14年以前については推計値であり、

・販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量(推計)を加えた数量である。

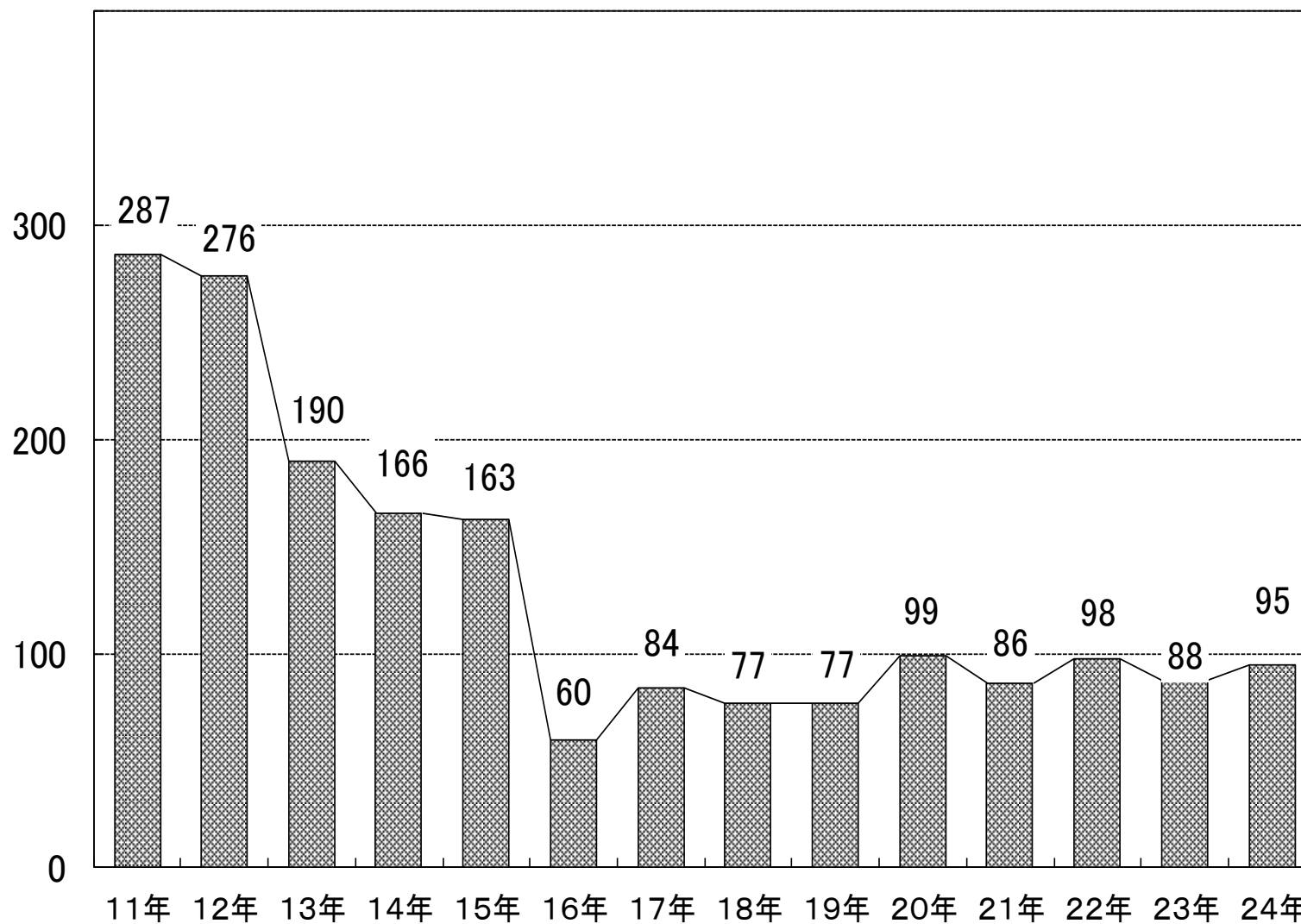
・出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量(推計)を加えた数量である。

なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」(平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」)を基に算出した在庫量から精米在庫量(推計)を控除した玄米在庫量である。

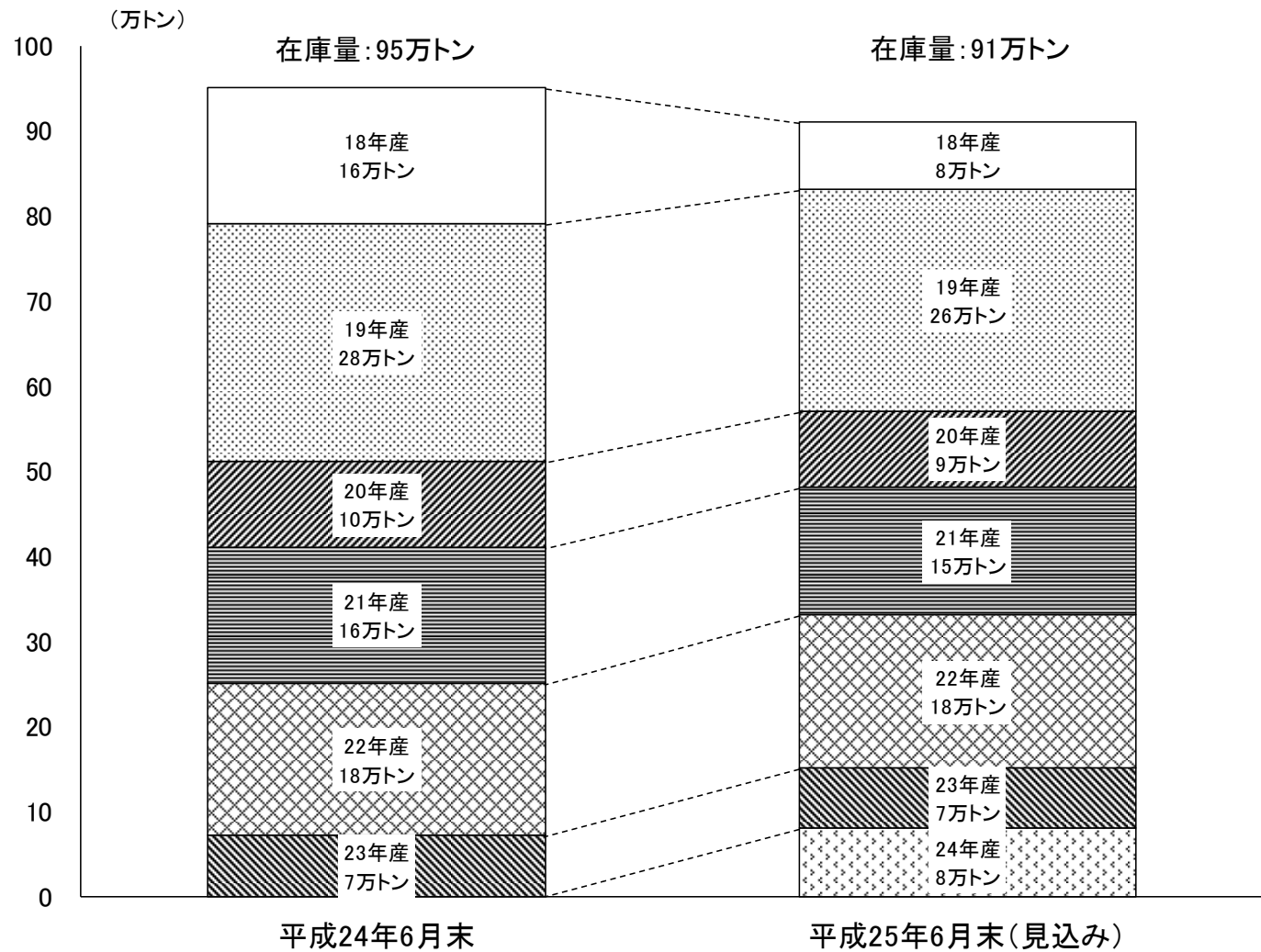
3) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2 政府備蓄米の6月末在庫の推移

(単位:万トン)



3 政府備蓄米の在庫の状況



資料：農林水産省調べ

- 注：1) うるち玄米の数量である。
2) 平成24年6月末以降、平成23年産米の特別隔離対策等による米の供給減少分の代替供給4万トン(平成19年産2万トン、平成20年産1万トン、平成21年産1万トン)について、平成24年8月末までに供給済となっているほか、平成18年産について、8万トンの範囲内で非主食用に販売。
3) 平成24年産については、8万トンの契約が進んでおり、平成25年3月末までに全量が政府へ引き渡される予定。
4) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(単位:万トン)

4 平成23/24年及び24/25年の米の需給見通し

<23/24年の需給見通し>

【23年7月指針】

	主食用米等	
23年6月末在庫量	A	182
23年産米生産数量目標	B	795
原発事故による作付制限	C	▲ 5
地震・津波被害による生産量減少	D	▲ 9
県内市町村間調整・県間調整による生産量増加	E	12
平成23年産主食用米等生産量	F=B+C+D+E	793
供給量 計	G=A+F	975
需要量	H	805
24年産6月末民間在庫	I=G-H	170

【23/24年の備蓄運営】

	備蓄運営	
23年6月末備蓄量	A	88
23年産米買入数量	B	※ 20
平成23/24年非主食用販売量	C	※ 20
24年6月末備蓄量	D=A+B-C	88

注：※は仮置きした数量である。

【23年11月指針】

	主食用米等	
23年6月末在庫量	A	181
23年産主食用米等生産量	B	813
平成23/24年主食用米等供給量計	C=A+B	994
平成23/24年主食用米等需要量	D	805
平成24年6月末民間在庫量	E=C-D	189

【23/24年の備蓄運営】

	備蓄運営	
平成23年6月末備蓄量	A	88
平成23年産米買入数量	B	※ 7
平成23/24年飼料用・援助用等販売量	C	※ 4
24年6月末備蓄量	D=A+B-C	91

注：※は予定数量である。

<24/25年の需給見通し>

【24年7月指針】

	主食用米等	
平成24年6月末在庫量	A	182
平成24年産米生産数量目標	B	793
平成24/25年備蓄米代替供給量	C	4
平成24/25年主食用米等供給量計	D=A+B+C	979
平成24/25年主食用米等需要量	E	798
平成25年6月末民間在庫量	F=D-E	181

【24/25年の備蓄運営】

	備蓄運営	
平成24年6月末備蓄量	A	95
平成24年産米買入契約数量	B	8
平成24/25年備蓄米代替供給量	C	4
平成24/25年飼料用・援助用等販売量	D	※ 8
平成25年6月末備蓄量	E=A+B-C-D	91

注：※は仮置きした数量である。

【24年11月指針】

	主食用米等	
平成24年6月末在庫量	A	180
平成24年産主食用米等生産量	B	821 (注1)
平成24/25年備蓄米代替供給量	C	4 (注2)
平成24/25年主食用米等供給量計	D=A+B+C	1,005
平成24/25年主食用米等需要量	E	799
平成25年6月末民間在庫量	F=D-E	206

【24/25年の備蓄運営】

	備蓄運営	
平成24年6月末備蓄量	A	95
平成24年産米買入数量	B	8
平成24/25年備蓄米代替供給量	C	4
平成24/25年非主食用販売量	D	8
平成25年6月末備蓄量	E=A+B-C-D	91

注1：平成24年産主食用米等生産量は、821万トンと見通しているが、平成24年産米について高温障害による精米歩留り減が発生しているため、平成24/25年主食用米等供給量計は、1,005万トンから数万トン程度減少となることも想定される。このため、平成25年6月末民間在庫量は、206万トンを下回る可能性がある。

注2：平成24/25年備蓄米代替供給量は、①東日本大震災により、倉庫に保管されていた平成22年産米が被災し、これを平成23年産米で埋め合わせる形で供給が行われたこと、②特別隔離対策(100 Bq/kgを超える平成23年産米の特別隔離対策)の対象となる米が市場隔離されること、から供給量が減少したことに伴い、①及び②に見合う量4万トン(震災による倉庫被災分2万トン程度+特別隔離対策による隔離数量2万トン程度)の代替供給を政府備蓄米から行った数量である。

注：平成24/25年備蓄米代替供給量は、①東日本大震災により、倉庫に保管されていた平成22年産米が被災し、これを平成23年産米で埋め合わせる形で供給が行われたこと、②特別隔離対策(100 Bq/kgを超える平成23年産米の特別隔離対策)の対象となる米が市場隔離されること、から供給量が減少したことに伴い、①及び②に見合う量4万トン(震災による倉庫被災分2万トン程度+特別隔離対策による隔離数量2万トン程度)の代替供給を政府備蓄米から行う数量である。

5 25年産米の政府備蓄米の買入について

○ 25年産米の政府備蓄米買入に係る見直しの概要

買入予定数量を県別優先枠として配分

- ① 買入予定数量（20万トン）については、これまでの備蓄米の売渡実績に加え、道府県からの希望聴取を通じ「県別優先枠」として配分。
- ② 優先枠の配分を受けた道府県は、その枠内で他の道府県と競争することなく、入札に参加可能。
- ③ 26年産以降についても、前年産の売渡実績をベースに「県別優先枠」を設定。
- ④ 備蓄米の買入価格は、主食用米と遜色ない水準であることを周知。（24年産米の加重平均落札価格は、13,406円/60kg）

入札手続等の改善方向

- ① 出荷数量について、豊作時における作況調整を任意とする。
- ② 国に引き渡す銘柄の報告期限の延長（「買入契約時」から「6月30日」までに）。銘柄変更の許（政府引渡し時まで）。
- ③ 売渡申込数量の下限の引下げ（50トン以上から10トン以上に）。
- ④ 取組生産者の報告期限の延長（6月30日から8月31日に）。

産地資金の拡充

23年度の優先枠の数量を超えて備蓄米の落札を行った都道府県に対して、拡大に応じて1.5万円/10a相当の産地資金を追加で配分。

○ 25年産政府備蓄米の買入入札の結果

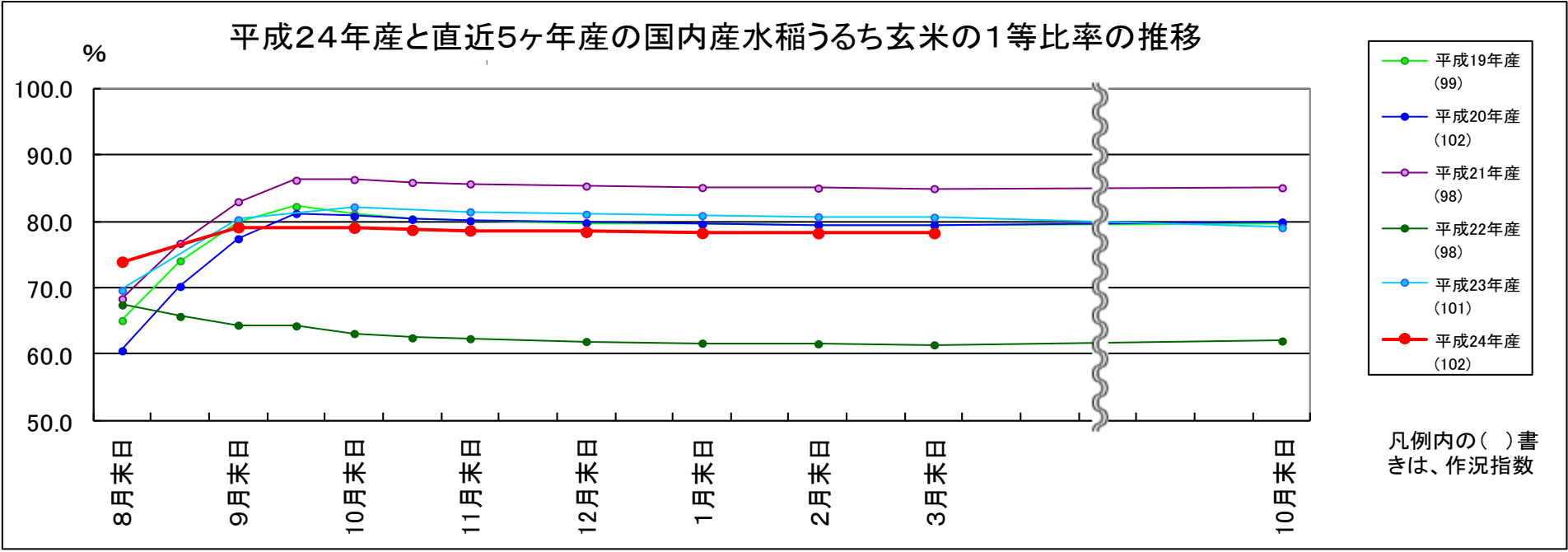
単位:トン

買入対象米穀の産地	25年産買入予定数量	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	25年産落札合計数量
		(1月29日) 落札数量	(2月12日) 落札数量	(2月26日) 落札数量	(3月12日) 落札数量	(3月26日) 落札数量	(4月9日) 落札数量	(4月23日) 落札数量	
指定なし①	3,820		210	120	130	495	557	15	1,527
北海道	21,000					10,153		3,905	14,058
青森	21,000	102	825	15,489	1,551	189	170	273	18,599
岩手	10,000	162	6,900	152	71		67	24	7,376
宮城	10,000		140	12	229	6,712	20	197	7,310
秋田	30,000		17,680	4,427	1,543	401	368	722	25,141
山形	12,500	270	8,232	2,979	1,019				12,500
福島	40,000	152	446	807	279	282	541	558	3,065
茨城	3,000		34	237	867	195	32	103	1,468
栃木	14,730		1,830		9,333				11,163
埼玉	600		520	80					600
千葉	5,000		1,288	486	161	191	216	32	2,374
新潟	31,000	714	29,138	98	188	764	4	28	30,934
富山	13,000		10,791	1,650		390			12,831
石川	4,000			4,000					4,000
福井	1,300			632					632
長野	2,000		522					51	573
岐阜	1,500			654		81			735
静岡	1,200				10	22	20		52
愛知	2,000		1,000			400		403	1,803
三重	860	48	48		711				807
滋賀	3,000		730	539	167	93		22	1,551
京都	400								
兵庫	1,200		120		140	180	66		506
奈良	530								
鳥取	1,320				510	276	534		1,320
島根	250					95			95
岡山	3,100	249	1,128	1,203	137	174	37	1	2,929
広島	1,560			300	600		102		1,002
山口	3,000				121	24		106	251
徳島	2,000		762	102	56	94	265	90	1,369
香川	500			240				75	315
愛媛	1,000				261	23	49	3	336
高知	110			30	17	5		10	62
福岡	1,300		242	65	65	61	16	5	454
佐賀	900				830				830
長崎	80						80		80
熊本	1,000						300	72	372
大分	240			240					240
道府県別枠計②	246,180	1,697	82,376	34,422	18,866	20,805	2,887	6,680	167,733
合計(①+②)	250,000	1,697	82,586	34,542	18,996	21,300	3,444	6,695	169,260

6 平成24年産水稻うるち玄米の1等比率

	平成24年産	平成23年産	22年産	21年産	20年産	19年産
8月末日	74.0	69.6	67.5	68.4	60.5	65.1
9月末日	79.2	80.3	64.4	83.0	77.5	80.0
10月末日	79.1	82.3	63.1	86.4	80.8	81.2
11月末日	78.7	81.5	62.4	85.7	80.2	80.2
12月末日	78.5	81.2	61.9	85.4	79.9	79.8
1月末日	78.3	80.9	61.7	85.2	79.7	79.7
2月末日	78.3	80.8	61.6	85.1	79.6	79.5
3月末日	78.3	80.6	61.4	85.0	79.5	79.4
最終	-	80.8	62.0	85.1	80.0	79.6

資料：農林水産省とりまとめ。
 注1：「1等比率」とは、農産物検査法に基づく検査の結果、1等に格付けされた割合。
 注2：「最終」は、翌年10月末現在。
 注3：1等比率については、4月以降変動が軽微なため、平成23年産より、翌年4月末～翌年9月末の間、公表しないこととした。



7 平成24年度のSBS輸入入札状況

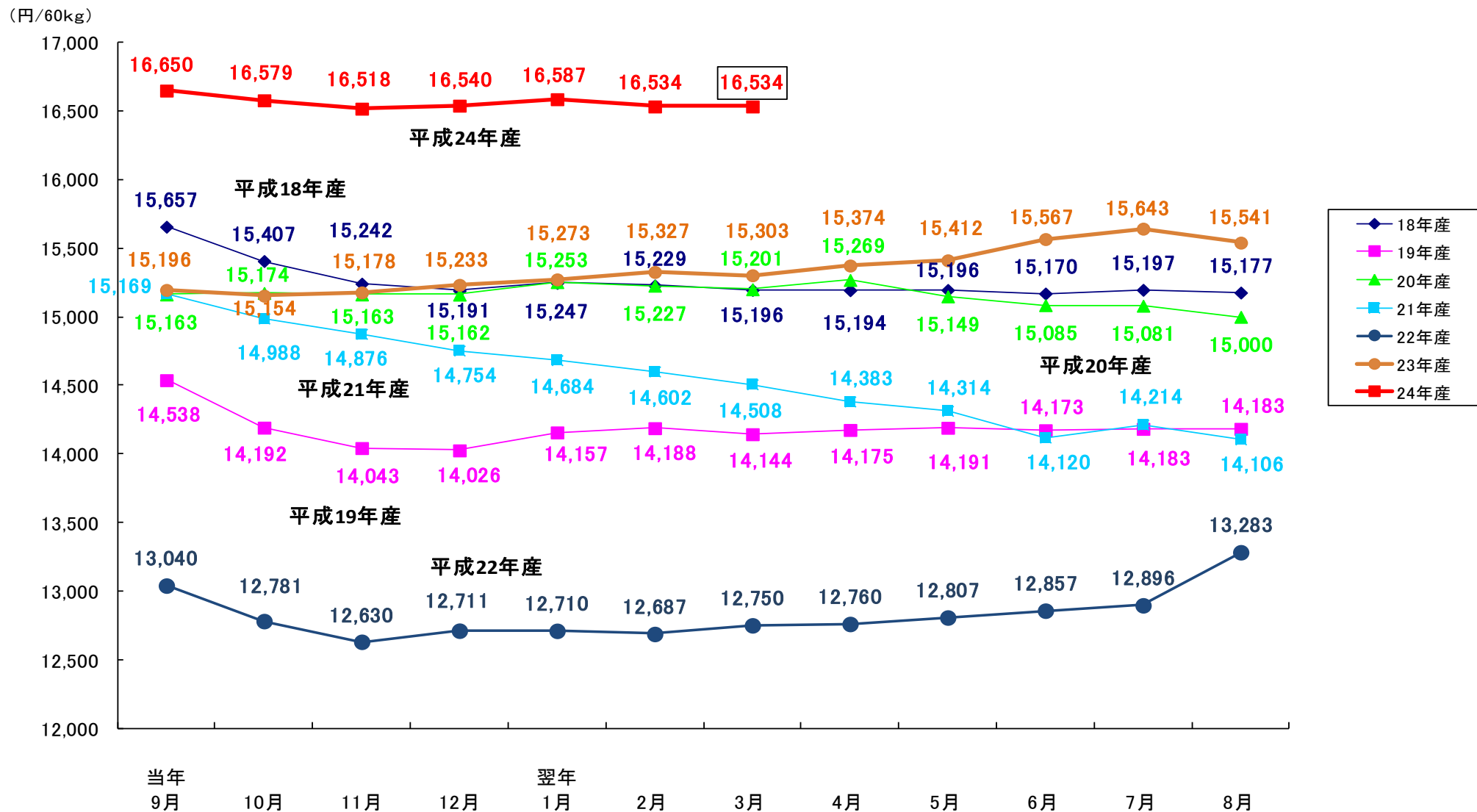
- 平成24年度のSBS米の輸入について、4回の入札で予定数量の10万トンを全量落札。
- 国産米価格が高い水準で推移している中で、業務用などに適した値ごろ感のある国産米の手当てが難しい状況を反映し、政府売渡価格は昨年よりも高い水準。

○ SBS（主食用）の入札結果

入札実施日	第1回(24年9月25日)	第2回(24年11月6日)	第3回(24年12月18日)	第4回(25年2月20日)
申込数量 (応札倍率)	80,518トン (3.6倍)	79,552トン (3.5倍)	76,025トン (3.4倍)	54,026トン (2.4倍)
落札数量	22,500トン (主な内訳) 中国産 12,056トン 米国産 6,280トン 豪州産 4,124トン	22,500トン (主な内訳) 豪州産 10,174トン 米国産 9,526トン 中国産 2,800トン	22,500トン (主な内訳) 中国産 11,824トン 米国産 7,088トン 豪州産 2,147トン	22,500トン (主な内訳) 米国産 13,472トン 豪州産 7,328トン 中国産 960トン
落札価格 平均売渡価格(税込) 平均買入価格(税込)	291千円/トン 162千円/トン	292千円/トン 145千円/トン	314千円/トン 151千円/トン	303千円/トン 139千円/トン

注：このほか、砕精米（加工用）を各回2,500トンずつ（合計1万トン）落札。

8 米の相対取引価格の月別全銘柄平均の推移（平成18年産～24年産）



資料：農林水産省調べ

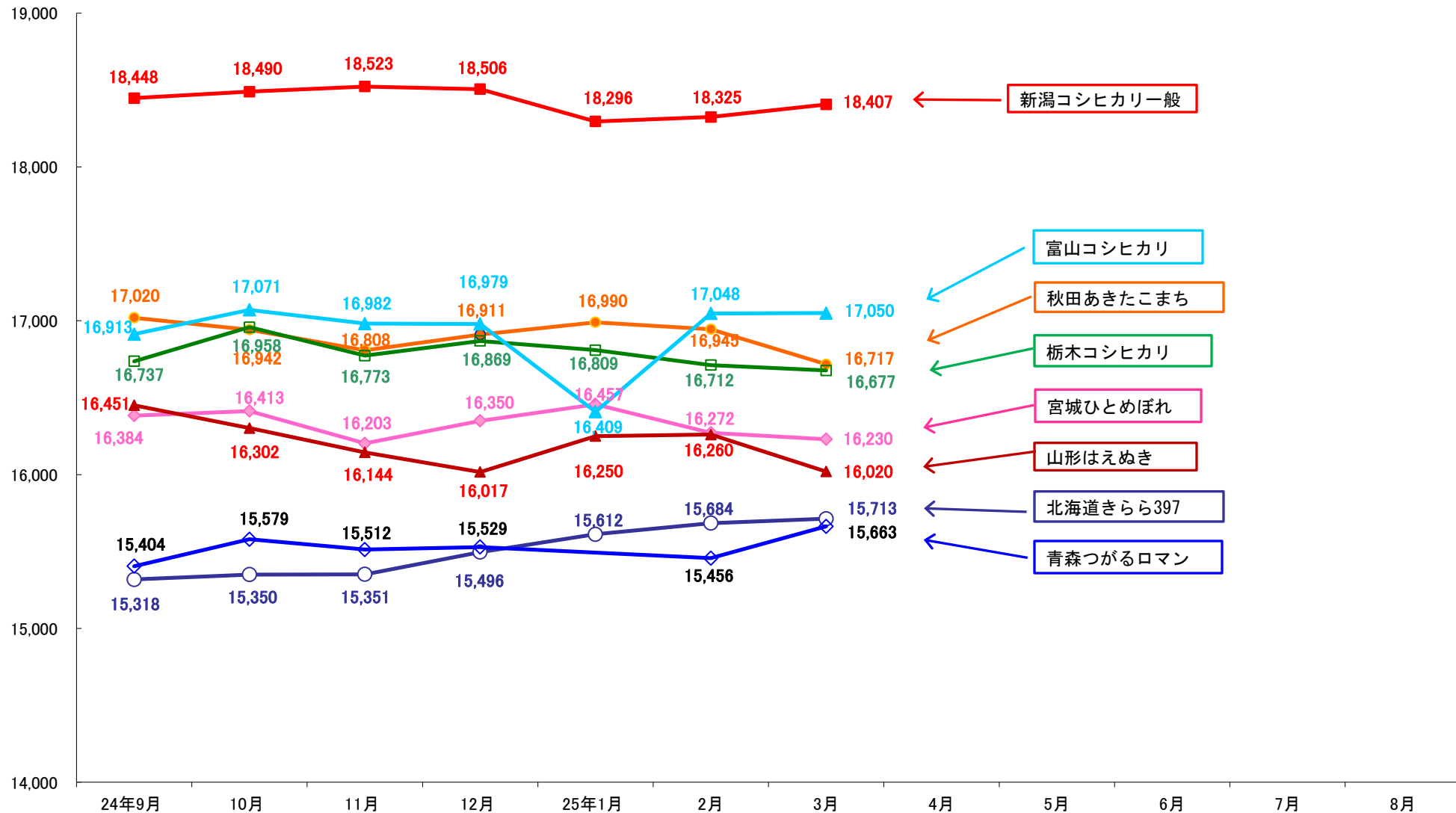
注1：価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

2：産地銘柄ごとの価格を前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

3：全銘柄平均価格は、当年産の7月から翌年10月までの数量を累計し算出した価格である。

9 産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成24年産)

(円/60kg)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
 (注意) 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

10 平成24年産米の相対取引価格(平成25年3月分)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	25年3月 ①	参考			
			25年2月 ②	対前月比 ①/②	24年3月 ③	対前年比 ①/③
北海道	きらら397	15,713	15,684	100%	14,322	110%
北海道	ななつぼし	15,378	15,672	98%	14,368	107%
青森	つがるロマン	15,663	15,456	101%	13,613	115%
青森	まっしぐら	15,446	15,129	102%	13,593	114%
宮城	ひとめぼれ	16,230	16,272	100%	14,540	112%
秋田	あきたこまち	16,717	16,945	99%	15,165	110%
秋田	ひとめぼれ	16,068	16,049	100%	-	-
秋田	めんこいな	15,707	-	-	-	-
山形	はえぬき	16,020	16,260	99%	14,539	110%
山形	コシヒカリ	17,164	-	-	-	-
山形	ひとめぼれ	16,360	16,259	101%	-	-
福島	コシヒカリ(中通り)	15,913	15,914	100%	13,874	115%
福島	コシヒカリ(会津)	16,647	17,081	97%	15,980	104%
福島	ひとめぼれ	15,490	15,519	100%	13,772	112%
茨城	コシヒカリ	16,852	16,654	101%	15,848	106%
栃木	コシヒカリ	16,677	16,712	100%	15,490	108%
千葉	コシヒカリ	16,728	16,925	99%	-	-
長野	コシヒカリ	17,012	16,897	101%	16,019	106%
新潟	コシヒカリ(一般)	18,407	18,325	100%	18,779	98%
新潟	コシヒカリ(魚沼)	23,908	23,704	101%	23,931	100%
新潟	コシヒカリ(岩船)	18,926	18,713	101%	19,511	97%
新潟	コシヒカリ(佐渡)	18,751	18,703	100%	19,477	96%
新潟	こしいぶき	16,050	16,123	100%	-	-
富山	コシヒカリ	17,050	17,048	100%	16,222	105%

産地	品種銘柄	25年3月 ①	参考			
			25年2月 ②	対前月比 ①/②	24年3月 ③	対前年比 ①/③
石川	コシヒカリ	16,986	16,921	100%	16,268	104%
福井	コシヒカリ	17,091	17,084	100%	16,011	107%
福井	ハナエチゼン	15,818	-	-	14,645	108%
岐阜	コシヒカリ	16,494	16,656	99%	15,660	105%
三重	コシヒカリ(一般)	17,056	16,989	100%	-	-
三重	コシヒカリ(伊賀)	17,481	-	-	-	-
兵庫	コシヒカリ	17,034	17,229	99%	15,864	107%
兵庫	ヒノヒカリ	15,573	15,600	100%	-	-
島根	コシヒカリ	17,111	16,981	101%	15,912	108%
島根	きぬむすめ	16,165	16,162	100%	-	-
広島	コシヒカリ	16,001	15,994	100%	15,105	106%
山口	コシヒカリ	17,072	16,858	101%	-	-
山口	ヒノヒカリ	16,007	15,903	101%	-	-
山口	ひとめぼれ	16,003	15,983	100%	-	-
香川	ヒノヒカリ	15,936	15,908	100%	14,662	109%
愛媛	コシヒカリ	17,053	-	-	-	-
愛媛	ヒノヒカリ	16,326	-	-	-	-
愛媛	あきたこまち	16,351	-	-	-	-
福岡	ヒノヒカリ	16,315	16,216	101%	15,092	108%
福岡	夢つくし	17,157	17,012	101%	-	-
長崎	ヒノヒカリ	16,601	-	-	-	-
熊本	ヒノヒカリ	16,683	-	-	15,057	111%
大分	ヒノヒカリ	16,474	16,492	100%	15,322	108%
全銘柄平均価格		16,534	16,534	100%	15,303	108%

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注:1)相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。

その際、新潟、新潟、長野、静岡(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

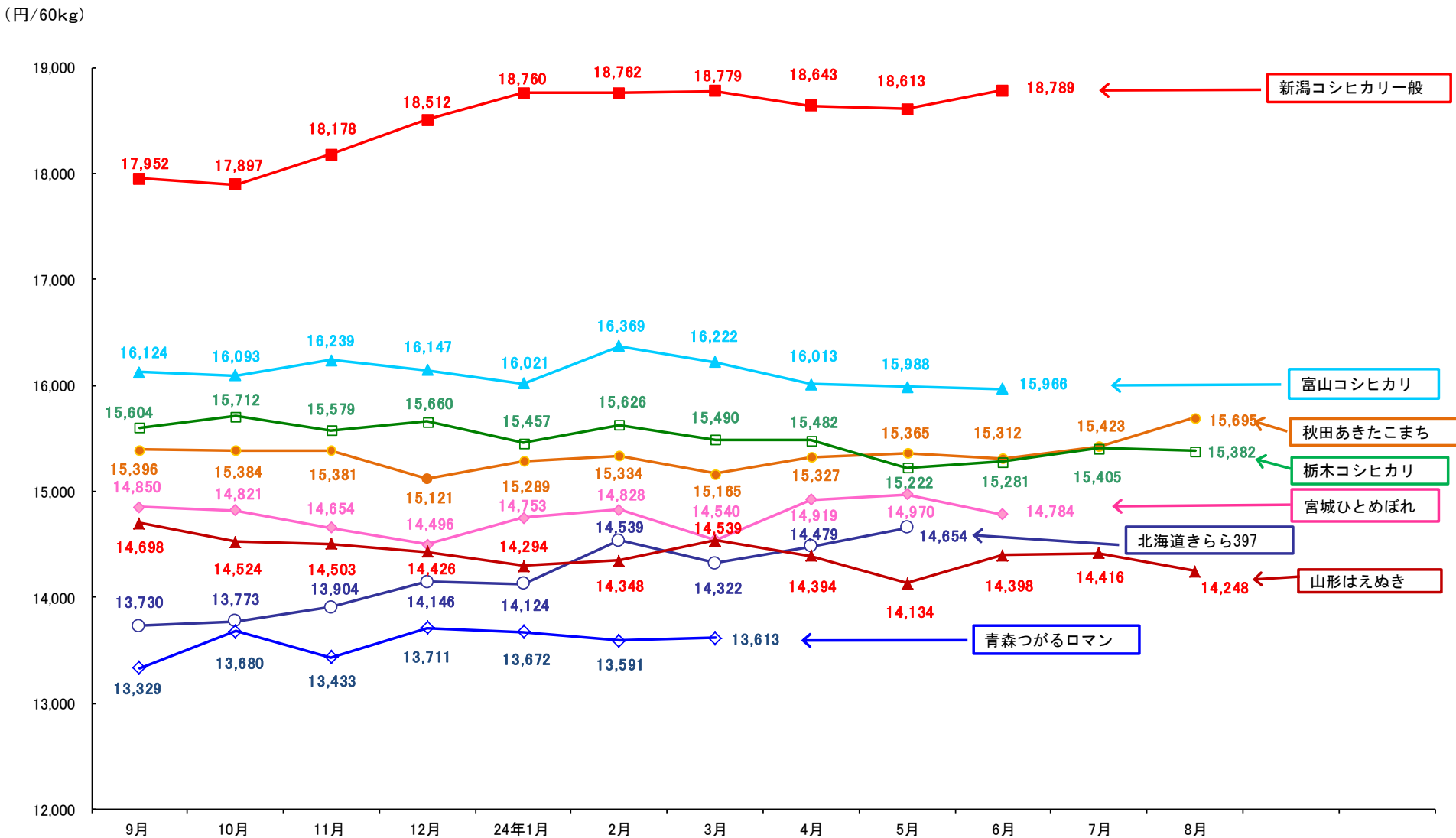
2)また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

3)産地品種銘柄は、報告対象産地品種銘柄のうち、月1,000トン以上の取引があったものである。

4)全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5)24年3月は23年産の価格である。

11 産地品種銘柄別相対取引価格の推移(平成23年産)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
 (注意) 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

12 米の流通の状況(16~22年産米)

【生産段階】

(単位:万トン)

年産	生産量													
			出荷・販売		農家消費等		その他		加工用米等		もち米		減耗	
16	872	100.0%	636	72.9%	180	20.6%	56	6.4%	12	1.4%	27	3.1%	17	1.9%
17	906	100.0%	653	72.1%	183	20.2%	62	6.8%	13	1.4%	31	3.4%	18	2.0%
18	855	100.0%	631	73.8%	165	19.3%	59	6.9%	15	1.8%	27	3.2%	17	2.0%
19	871	100.0%	632	72.6%	174	20.0%	65	7.5%	17	2.0%	31	3.6%	17	2.0%
20	882	100.0%	636	72.1%	172	19.5%	64	7.3%	16	1.8%	30	3.4%	18	2.0%
21	847	100.0%	624	73.7%	161	19.0%	62	7.3%	16	1.9%	29	3.4%	17	2.0%
22	848	100.0%	592	69.8%	173	20.4%	73	8.6%	24	2.8%	32	3.8%	17	2.0%

【出荷・販売段階】

年産	出荷・販売															
			農協				全集連系業者				生産者 直接販売等					
			販売委託		直販		販売委託		直販							
16	636	72.9%	390	44.7%	350	40.1%	40	4.6%	20	2.3%	7	0.8%	12	1.4%	226	25.9%
17	653	72.1%	405	44.7%	352	38.9%	53	5.8%	22	2.4%	8	0.9%	13	1.4%	226	24.9%
18	631	73.8%	384	44.9%	320	37.4%	64	7.5%	21	2.5%	9	1.1%	13	1.5%	227	26.5%
19	632	72.6%	378	43.4%	308	35.4%	70	8.0%	21	2.4%	9	1.0%	13	1.5%	232	26.6%
20	636	72.1%	390	44.2%	303	34.4%	87	9.9%	21	2.4%	8	0.9%	14	1.6%	224	25.4%
21	624	73.7%	372	43.9%	294	34.7%	78	9.2%	22	2.6%	7	0.8%	15	1.8%	230	27.2%
22	592	69.8%	369	43.5%	285	33.6%	84	9.9%	21	2.5%	6	0.7%	15	1.8%	202	23.8%

資料:資料:農林水産省「作物統計」、「生産者の米穀現在高等調査」(22年産は「生産者の米穀在庫等調査」)、「農林業センサス」、「米穀の取引に関する報告」及び全国出荷団体調べ等を基に推計。
 注:1)平成21年産までの推計に用いた「生産者の米穀現在高等調査」と22年産の推計に用いた「生産者の米穀在庫高等調査」では調査対象農家の定義が異なる(前者は10a以上稲を作付(子実用)している農家、後者は販売目的の水稻の作付面積が10a以上の販売農家が対象)ことから、22年産では推計手法を変更している。
 2)生産段階には、生産段階には、このほか、①集荷円滑化対策による区分出荷米(17年産8万トン、20年産米10万トン)、②品質低下に伴う歩留り減(22年産米10万トン)がある。
 3)ラウンドの関係で、計と内訳が一致しない場合がある。

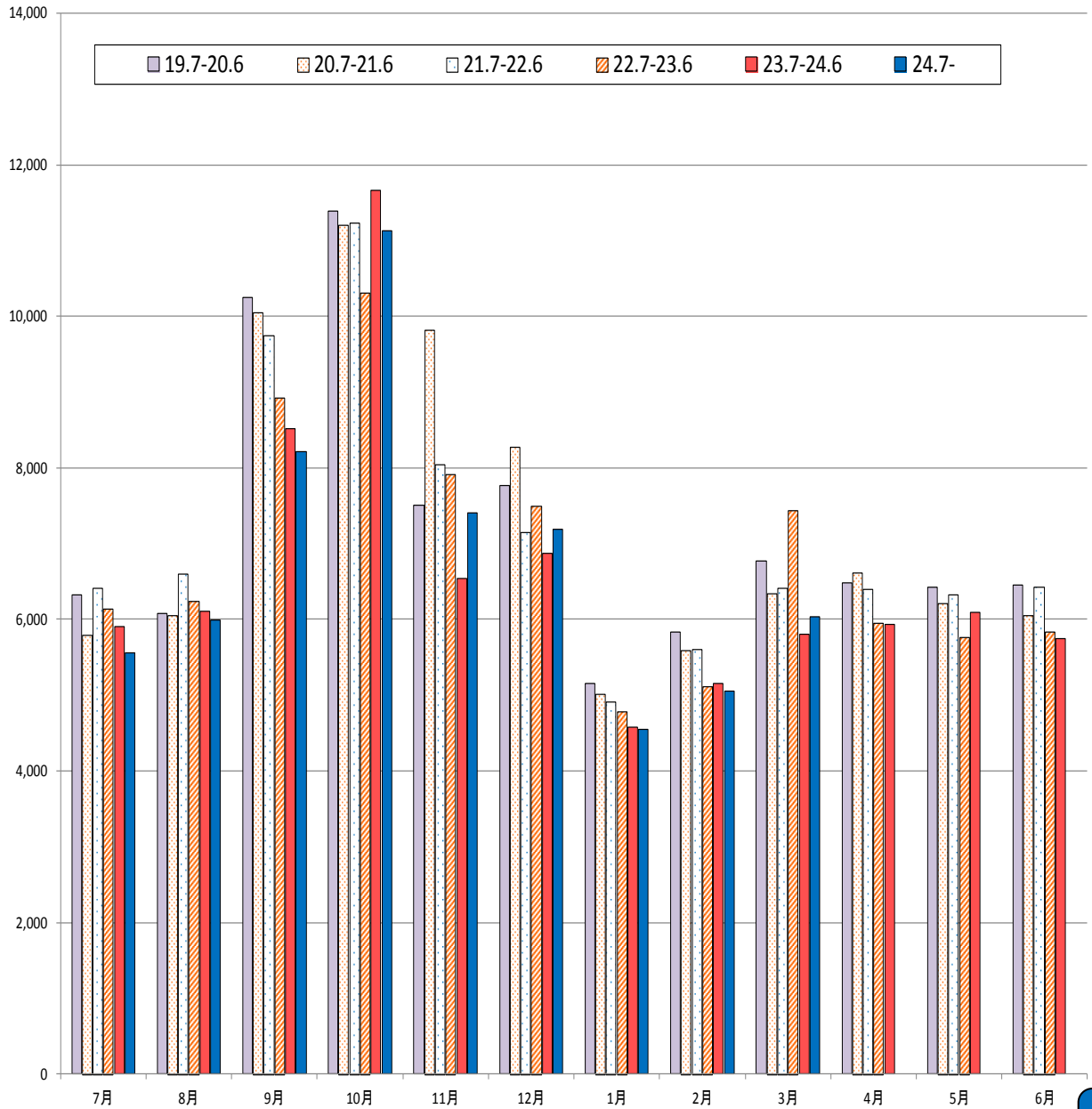
13 家庭における米購入量等の推移①

(単位: グラム)

	月間購入量	対前年同月比	年間累計	対前年比
H19.7	6,330	0.8%	86,450	2.5%
H19.8	6,080	0.3%		
H19.9	10,250	14.8%		
H19.10	11,390	▲6.0%		
H19.11	7,500	4.0%		
H19.12	7,770	▲0.4%		
H20.1	5,160	4.7%		
H20.2	5,840	2.1%		
H20.3	6,770	6.1%		
H20.4	6,480	1.9%		
H20.5	6,430	1.9%		
H20.6	6,450	3.2%		
H20.7	5,800	▲8.4%	87,050	0.7%
H20.8	6,050	▲0.5%		
H20.9	10,050	▲2.0%		
H20.10	11,210	▲1.6%		
H20.11	9,820	30.9%		
H20.12	8,270	6.4%		
H21.1	5,020	▲2.7%		
H21.2	5,590	▲4.3%		
H21.3	6,340	▲6.4%		
H21.4	6,620	2.2%		
H21.5	6,220	▲3.3%		
H21.6	6,060	▲6.0%		
H21.7	6,410	10.5%	85,300	▲2.0%
H21.8	6,610	9.3%		
H21.9	9,750	▲3.0%		
H21.10	11,240	0.3%		
H21.11	8,040	▲18.1%		
H21.12	7,150	▲13.5%		
H22.1	4,920	▲2.0%		
H22.2	5,600	0.2%		
H22.3	6,420	1.3%		
H22.4	6,400	▲3.3%		
H22.5	6,330	1.8%		
H22.6	6,430	6.1%		
H22.7	6,140	▲4.2%		
H22.8	6,240	▲5.6%		
H22.9	8,930	▲8.4%		
H22.10	10,310	▲8.3%		
H22.11	7,920	▲1.5%		
H22.12	7,500	4.9%		
H23.1	4,790	▲2.6%	81,930	▲4.0%
H23.2	5,110	▲6.8%		
H23.3	7,440	15.9%		
H23.4	5,950	▲7.0%		
H23.5	5,760	▲9.0%		
H23.6	5,840	▲9.2%		
H23.7	5,910	▲3.7%		
H23.8	6,110	▲2.1%		
H23.9	8,520	▲4.6%		
H23.10	11,670	13.2%		
H23.11	6,540	▲17.4%		
H23.12	6,870	▲8.4%		
H24.1	4,580	▲4.4%	78,930	▲3.7%
H24.2	5,150	0.8%		
H24.3	5,810	▲21.9%		
H24.4	5,930	▲0.3%		
H24.5	6,090	5.7%		
H24.6	5,750	▲1.5%		
H24.7	5,560	▲5.9%		
H24.8	5,990	▲2.0%		
H24.9	8,220	▲3.5%		
H24.10	11,130	▲4.6%		
H24.11	7,400	13.1%		
H24.12	7,190	4.7%		
H25.1	4,550	▲0.7%	61,130	▲0.0%
H25.2	5,060	▲1.7%		
H25.3	6,030	3.8%		

資料: 総務省「家計調査」(二人以上の世帯)

(グラム)



13 家庭における米購入量等の推移②(1世帯当たりの購入量の推移(米・パン・めん類))

(単位: ㌔、%)

	米		パン		めん類	
		対前年比		対前年比		対前年比
平成21年	85,110	-	45,599	-	36,615	-
平成22年	83,010	▲2.5	45,443	▲0.3	37,000	1.1
平成23年	80,570	▲2.9	45,257	▲0.4	36,926	▲0.2
平成24年	78,780	▲2.2	44,808	▲1.0	35,819	▲3.0
平成22年1月	4,920	▲2.0	3,673	4.3	2,966	3.9
2月	5,600	0.2	3,484	▲0.3	2,778	3.3
3月	6,420	1.3	4,119	2.2	3,135	0.4
4月	6,400	▲3.3	3,989	1.1	2,937	3.0
5月	6,330	1.8	3,954	▲3.4	3,000	▲5.8
6月	6,430	6.1	3,790	▲0.9	3,038	▲1.2
7月	6,140	▲4.2	3,850	0.1	3,503	1.3
8月	6,240	▲5.6	3,612	▲3.8	3,268	4.6
9月	8,930	▲8.4	3,663	▲5.6	2,534	0.2
10月	10,310	▲8.3	3,979	1.0	2,914	1.2
11月	7,920	▲1.5	3,700	▲1.0	3,020	0.9
12月	7,500	4.9	3,680	3.1	3,906	4.4
平成23年1月	4,790	▲2.6	3,656	▲0.5	2,875	▲3.1
2月	5,110	▲8.8	3,573	2.6	2,763	▲0.5
3月	7,440	15.9	4,076	▲1.0	3,424	9.2
4月	5,950	▲7.0	3,878	▲2.8	2,776	▲5.5
5月	5,760	▲9.0	4,015	1.5	2,958	▲1.4
6月	5,840	▲9.2	3,804	0.4	3,149	3.7
7月	5,910	▲3.7	3,640	▲5.5	3,911	11.6
8月	6,110	▲2.1	3,724	3.1	3,122	▲4.5
9月	8,520	▲4.6	3,653	▲0.3	2,583	1.9
10月	11,670	13.2	3,866	▲2.8	2,686	▲7.8
11月	6,540	▲17.4	3,700	0.0	2,893	▲4.2
12月	6,870	▲8.4	3,669	▲0.3	3,695	▲5.4
平成24年1月	4,580	▲4.4	3,505	▲4.1	2,821	▲1.9
2月	5,150	0.8	3,744	4.8	2,699	▲2.3
3月	5,810	▲21.9	4,035	▲1.0	2,889	▲15.6
4月	5,930	▲0.3	3,870	▲0.2	2,831	2.0
5月	6,090	5.7	3,917	▲2.4	2,986	0.9
6月	5,750	▲1.5	3,741	▲1.7	3,132	▲0.5
7月	5,560	▲5.9	3,704	1.8	3,557	▲9.1
8月	5,990	▲2.0	3,736	0.3	2,996	▲4.0
9月	8,220	▲3.5	3,566	▲2.4	2,477	▲4.1
10月	11,130	▲4.6	3,676	▲4.9	2,738	1.9
11月	7,400	13.1	3,640	▲1.6	2,955	2.1
12月	7,190	4.7	3,686	0.5	3,657	▲1.0
平成25年1月	4,550	▲0.7	3,572	1.9	2,695	▲4.5
2月	5,060	▲1.7	3,625	▲3.2	2,665	▲1.3
3月	6,030	3.8	4,076	1.0	2,965	2.6

資料: 総務省「家計調査」(二人以上の世帯)

13 家庭における米購入量等の推移③（1世帯当たりの支出金額の推移（食料））

（単位：円、％）

	食料		米		パン		めん類		スパゲッティ		カップめん		菓子類		調理食品		外食			
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	ハンバーガー			
																	対前年比	対前年比		
12年	887,453	—	38,920	—	27,209	—	17,060	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13年	861,235	▲3.0	37,045	▲4.8	26,062	▲4.2	16,649	▲2.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14年	854,518	▲0.8	35,292	▲4.7	26,455	+1.5	16,754	+0.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15年	838,918	▲1.8	35,903	+1.7	26,871	+1.6	16,473	▲1.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16年	835,676	▲0.4	35,801	▲0.3	27,307	+1.6	16,121	▲2.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17年	824,394	▲1.4	31,676	▲11.5	25,974	▲4.9	15,197	▲5.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18年	891,439	+8.1	30,968	▲2.2	26,560	+2.3	16,294	+7.2	1,021	—	2,952	—	75,463	—	101,905	—	159,676	—	3,506	—
19年	901,601	+1.1	30,680	▲0.9	27,097	+2.0	16,415	+0.7	1,082	+6.0	2,941	▲0.4	76,160	+0.9	100,910	▲1.0	164,860	+3.2	3,785	+8.0
20年	905,556	+0.4	31,229	+1.8	28,127	+3.8	17,986	+9.6	1,357	+25.4	3,015	+2.5	78,970	+3.7	98,567	▲2.3	164,894	+0.0	4,046	+6.9
21年	896,129	▲1.0	30,496	▲2.3	28,966	+3.0	18,423	+2.4	1,400	+3.2	3,293	+9.2	80,403	+1.8	98,469	▲0.1	161,314	▲2.2	4,352	+7.6
22年	884,768	▲1.3	28,610	▲6.2	28,177	▲2.7	18,047	▲2.0	1,280	▲8.6	3,351	+1.8	78,861	▲1.9	99,866	+1.4	160,230	▲0.7	4,476	+2.8
23年	872,850	▲1.3	27,425	▲4.1	28,321	+0.5	18,236	+1.0	1,285	+0.4	3,468	+3.5	76,801	▲2.6	101,930	+2.1	154,549	▲3.5	4,501	+0.6
24年	879,402	+0.8	28,731	+4.8	28,282	▲0.1	17,563	▲3.7	1,255	▲2.3	3,358	▲3.2	77,779	+1.3	104,615	+2.6	157,668	+2.0	4,315	▲4.1
23年1月	68,124	▲2.5	1,585	▲12.7	2,192	▲2.8	1,342	▲2.0	91	▲11.7	300	+4.5	6,078	▲5.0	7,892	+1.4	14,073	▲4.4	439	+3.8
2月	65,146	+0.0	1,788	▲9.7	2,193	▲1.7	1,258	▲1.8	105	▲0.9	280	▲3.1	6,252	▲2.1	7,648	+4.5	11,558	+0.4	347	+2.4
3月	70,489	▲2.9	2,535	+12.8	2,558	+1.6	1,665	+15.1	142	+14.5	443	+40.2	6,634	▲7.7	8,176	+3.2	11,221	▲16.4	341	▲18.4
4月	68,368	▲1.4	2,018	▲10.7	2,501	+1.3	1,345	▲1.4	111	▲4.3	253	▲6.6	6,220	+0.3	7,970	+4.3	11,806	▲4.9	332	▲5.4
5月	72,572	▲3.2	1,943	▲14.9	2,518	+0.4	1,510	+0.4	111	▲0.9	263	+0.4	6,570	▲2.3	8,027	+1.4	13,703	▲7.3	368	+4.0
6月	69,241	▲1.3	1,955	▲14.4	2,319	▲3.5	1,631	+1.2	102	+4.1	240	+7.6	5,663	▲4.3	7,670	+1.0	11,615	▲1.0	306	+7.7
7月	75,050	+0.6	2,053	▲6.0	2,313	▲2.2	2,058	+8.6	102	+5.2	226	+1.8	6,333	▲1.2	9,071	+2.7	13,359	+0.9	391	▲1.5
8月	77,241	▲1.8	2,129	+0.7	2,309	+2.6	1,646	▲2.0	98	▲3.0	258	+4.5	7,250	▲3.9	8,887	+1.0	14,968	▲3.6	435	▲12.7
9月	69,496	▲1.5	2,754	▲5.9	2,268	+1.4	1,282	+0.2	103	▲1.0	273	+5.8	5,782	▲0.4	7,987	+0.2	12,021	▲2.3	352	+4.5
10月	73,052	▲0.6	3,805	+15.1	2,428	+2.0	1,307	▲5.6	108	▲2.7	290	▲4.0	5,835	▲2.3	8,371	▲1.3	12,891	▲0.2	407	+18.7
11月	70,532	▲1.1	2,257	▲16.2	2,333	+2.9	1,367	▲0.1	106	+6.0	276	▲8.6	5,821	▲1.3	8,260	+1.5	12,731	▲0.6	355	+6.0
12月	93,539	▲0.6	2,603	+3.3	2,390	+4.2	1,825	▲2.0	106	▲1.9	367	▲1.1	8,363	▲0.6	11,971	+4.5	14,603	▲1.5	428	+8.1
24年1月	69,105	+1.4	1,707	+7.7	2,307	+5.2	1,313	▲2.2	99	+8.8	290	▲3.3	6,183	+1.7	8,106	+2.7	14,227	+1.1	433	▲1.4
2月	67,024	+2.9	1,873	+4.8	2,342	+6.8	1,273	+1.2	102	▲2.9	292	+4.3	6,426	+2.8	8,069	+5.5	11,342	▲1.9	329	▲5.2
3月	73,367	+4.1	2,120	▲16.4	2,577	+0.7	1,385	▲16.8	119	▲16.2	329	▲25.7	7,133	+7.5	8,422	+3.0	13,709	+22.2	382	+12.0
4月	70,347	+2.9	2,180	+8.0	2,473	▲1.1	1,352	+0.5	118	+6.3	274	+8.3	6,198	▲0.4	8,308	+4.2	12,503	+5.9	360	+8.4
5月	78,876	+8.7	2,225	+14.5	2,464	▲2.1	1,439	▲4.7	117	+5.4	247	▲6.1	6,601	+0.5	8,232	+2.6	13,556	▲1.1	311	▲15.5
6月	69,871	+0.9	2,177	+11.4	2,382	+2.7	1,554	▲4.7	105	+2.9	239	▲0.4	5,953	+5.1	7,852	+2.4	12,041	+3.7	298	▲2.6
7月	73,734	▲1.8	2,115	+3.0	2,348	+1.5	1,871	▲9.1	99	▲2.9	224	▲0.9	6,304	▲0.5	9,104	+0.4	13,143	▲1.6	381	▲2.6
8月	77,611	+0.5	2,276	+6.9	2,297	▲0.5	1,623	▲1.4	99	+1.0	233	▲9.7	7,415	+2.3	9,071	+2.1	15,291	+2.2	417	▲4.1
9月	69,859	+0.5	2,950	+7.1	2,248	▲0.9	1,231	▲4.0	99	▲3.9	256	▲6.2	5,735	▲0.8	8,150	+2.0	12,477	+3.8	351	▲0.3
10月	71,635	▲1.9	3,859	+1.4	2,313	▲4.7	1,280	▲2.1	102	▲5.6	288	▲0.7	5,701	▲2.3	8,605	+2.8	12,307	▲4.5	332	▲18.4
11月	69,959	▲0.8	2,527	+12.0	2,229	▲4.5	1,368	+0.1	94	▲11.3	291	+5.4	5,718	▲1.8	8,385	+1.5	12,710	▲0.2	346	▲2.5
12月	94,014	+0.5	2,721	+4.5	2,301	▲3.7	1,874	+2.7	101	▲4.7	395	+7.6	8,411	+0.6	12,311	+2.8	14,362	▲1.7	375	▲12.4
25年1月	69,041	▲0.1	1,829	+7.1	2,251	▲2.4	1,280	▲2.5	85	▲14.1	295	+1.7	6,080	▲1.7	8,406	+3.7	13,977	▲1.8	362	▲16.4
2月	65,406	▲2.4	1,997	+6.6	2,216	▲5.4	1,232	▲3.2	100	▲2.0	289	▲1.0	6,459	+0.5	7,825	▲3.0	11,241	▲0.9	325	▲1.2
3月	74,663	+1.8	2,290	+8.0	2,532	▲1.7	1,375	▲0.7	118	▲0.8	315	▲4.3	7,188	+0.8	8,450	+0.3	14,227	+3.8	382	±0.0

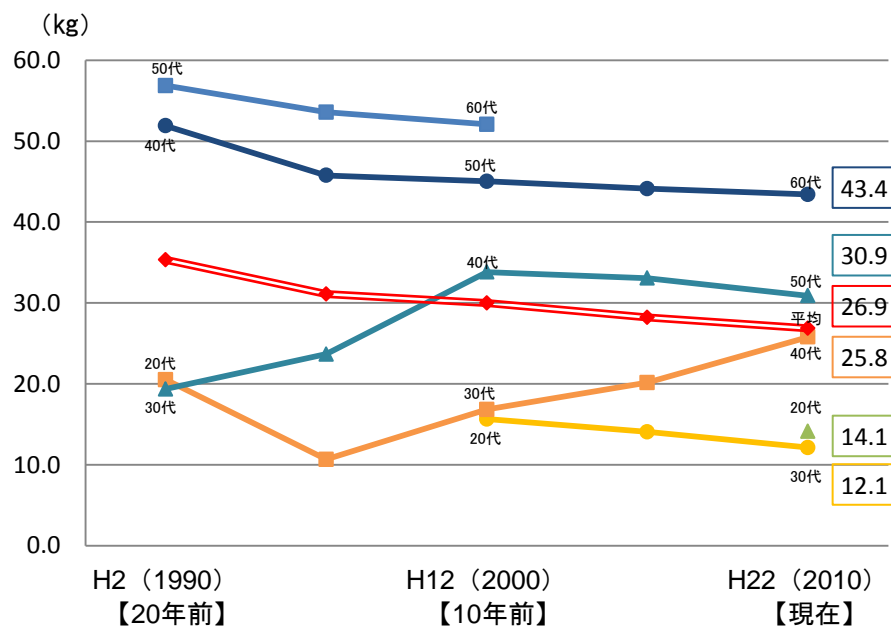
資料：総務省「家計調査」（二人以上の世帯）

(参考) 米の世代毎の消費動向の変化について

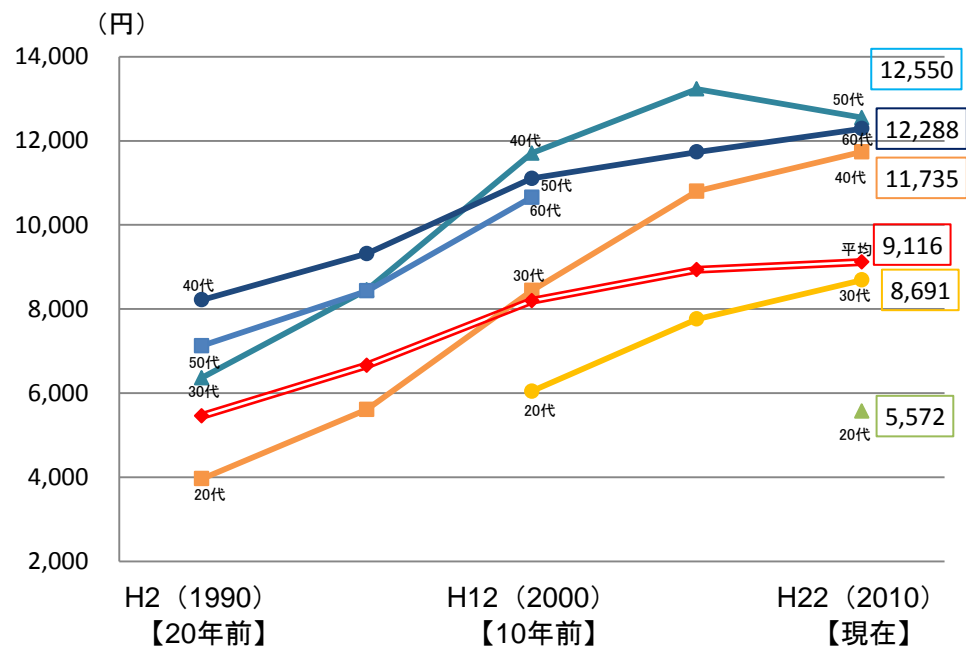
- 過去20年の推移をみると、米については、各世代において、購入数量には大きな変化が見られない。ただし、若年世代ほど一人当たり購入数量が少ないことから、結果、全世代平均を押し下げている傾向が窺える。
- 米飯関連の中食については、各世代において、右肩上がりに支出金額が増加している傾向が窺える。結果、全世代平均においても増加している傾向が窺える。

▲ 1980年代生まれ (2010年:20代)
 ● 1970年代生まれ (2010年:30代)
 ■ 1960年代生まれ (2010年:40代)
 ▲ 1950年代生まれ (2010年:50代)
 ● 1940年代生まれ (2010年:60代)
 ■ 1930年代生まれ (2010年:70代)
 ● 平均

●米の一人・一年当たり購入数量



●米飯関連の中食の一人・一年当たり支出金額 (2010年物価換算)



資料：総務省統計局「家計調査（二人以上の世帯）」の調査票情報、「消費者物価指数（2010年基準）」を利用し作成。

注1：家計調査について、公表結果は「世帯」単位であり「個人」に焦点を当てた分析に限界があったため、調査票（個票）データに基づき重回帰分析を実施し、推計。

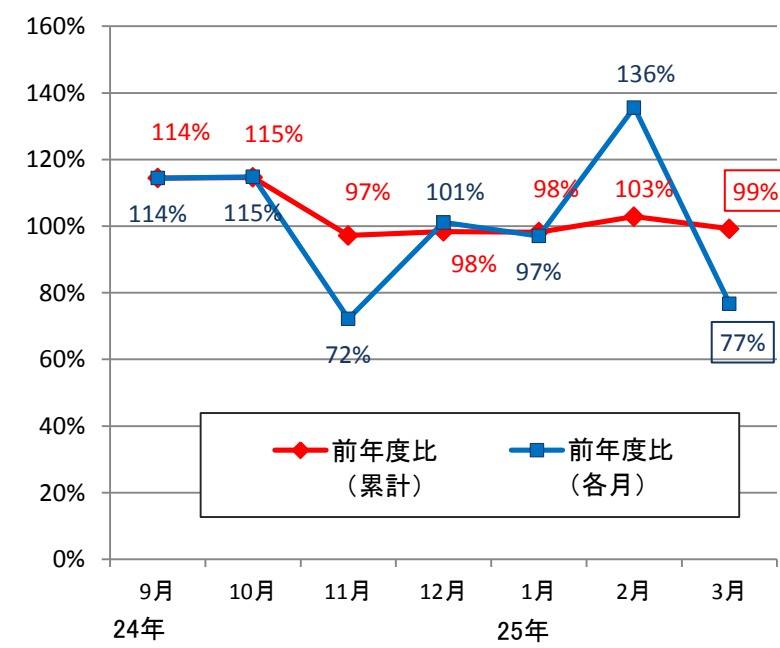
注2：グラフについて、各世代毎（ジェネレーション毎）にデータをつないでいることに留意。

注3：米飯関連の中食とは、1990年、1995年は「弁当類」、2000年、2005年、2010年は「弁当」・「すし（弁当）」・「おにぎり・その他」の合計値。また、物価換算にあたっては、家計調査と同品目の消費者物価指数を用いているが、同品目が無いものについては、「弁当」を用いて換算。

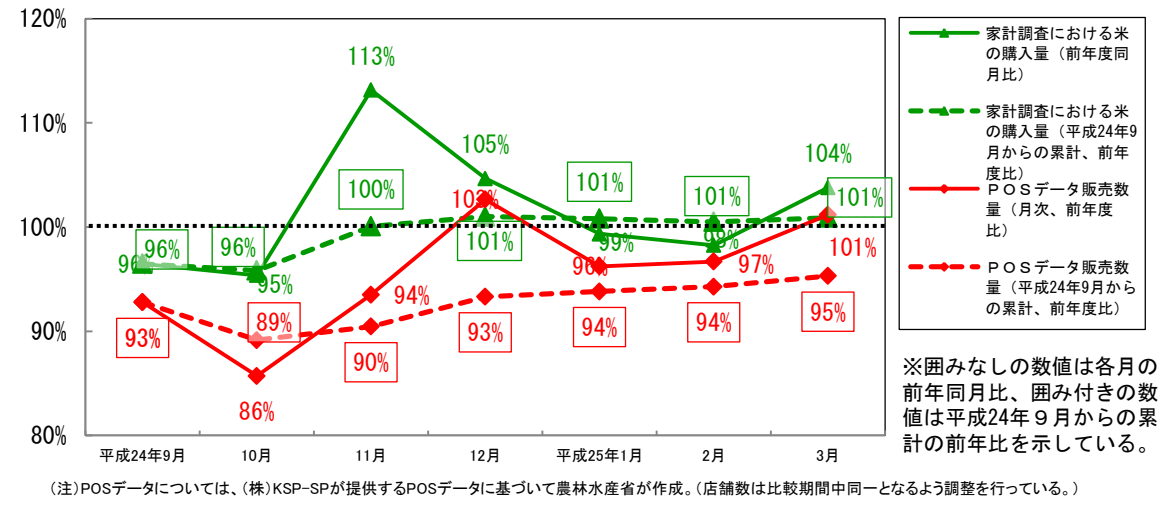
14 24年産米の流通状況について

- 平成24年産米について農林水産省に報告のあった相対取引数量を見ると、月によっては変動があり、累計では対前年をやや下回る程度となっている。
- また、POSデータによると、数量ベース(対前年度比)で見ると、食品スーパー等における米の販売が家計調査における米の購入数量より減少している傾向が示唆される。
- 一方で、米穀機構が実施している米の消費動向調査では、インターネットを通じて米を購入する消費者の割合が増加している。

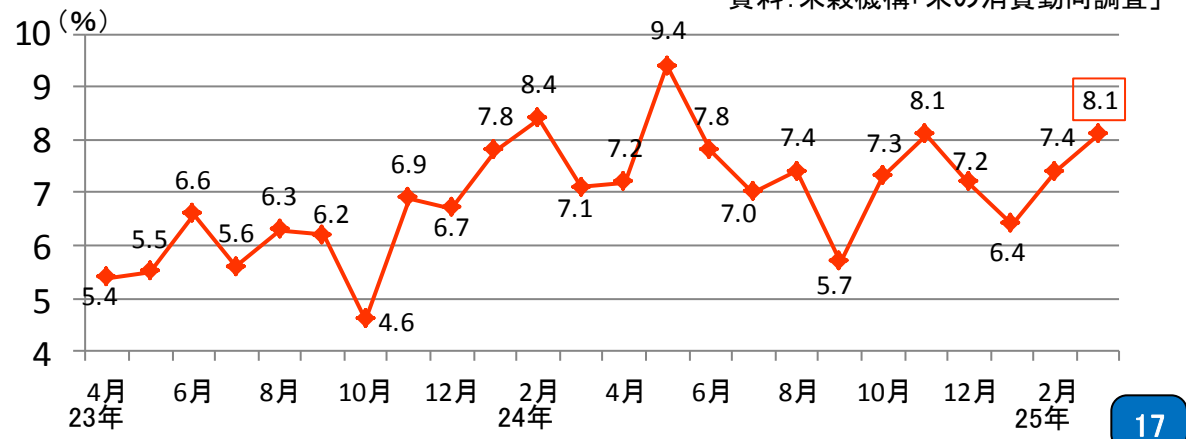
○ 24年産米の相対取引数量の比較



○ 小売段階における米の販売数量及び家計調査における米の購入量の前年度比較



○ インターネットで米を購入する人の割合



精米備蓄実証事業 (25年度概算決定額:30(25)百万円(特会))

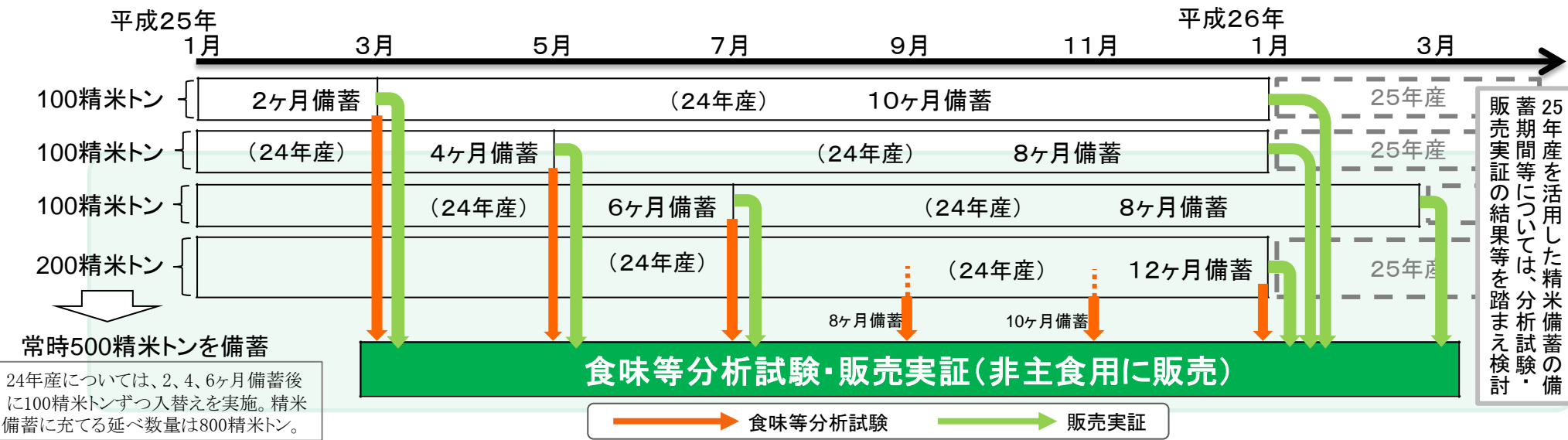
- 《背景》
 - ・東日本大震災発生後に、被災地から応急食料としての精米の供給要請
 - ・大消費地である首都圏において一時的に米の品薄状態が発生
- 《課題》
 - ・大規模災害への備えとして、一定量の精米のストックが必要
 - ・大規模災害発生直後に大都市圏で発生が想定される需要増加・精米供給能力の低下に対応する体制の確保が必要

《実証事業の概要》

- 平成24年度より、政府が買入れる備蓄米の一部を活用して試験的に精米形態での備蓄を実施。
 - ・備蓄量：500トン(東日本大震災発生～4月20日までの被災地向精米供給量に相当)
 - ・実施主体：政府所有米穀の販売等業務の委託を受けた民間団体等
- 併せて食味等分析試験及び販売実証(非主食として販売)を行うことにより、今後のより効率的な精米備蓄の可能性を検証。

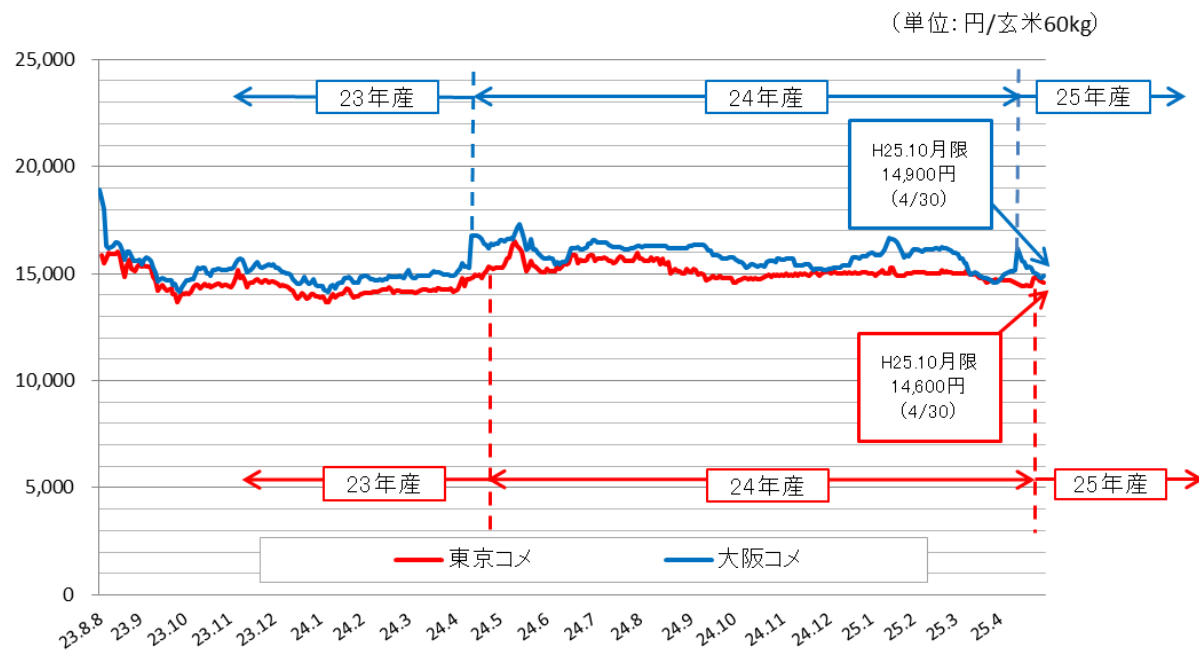
《事業の実施スキーム》

◇ 食味等分析試験は備蓄開始後2ヶ月おきに実施。販売実証は備蓄用精米の入替えを考慮し、以下のスケジュールで実施予定。
 (大規模災害が発生した場合は、本来の目的どおりに被災地等に供給。)



(参考3) 米の先物取引の試験上場の動向①

○価格の推移（期先限月の終値）



(参考) 各月末時点での期先限月の終値

(単位: 円/玄米60kg)

		東京コメ	大阪コメ
23年産	平成23年8月	15,340	15,580
	9月	14,100	14,380
	10月	14,450	15,170
	11月	14,610	15,380
	12月	13,930	14,410
	平成24年1月	14,040	14,850
24年産	2月	14,150	15,000
	3月	14,150	14,910
	4月	15,260	16,410
	5月	15,060	15,730
	6月	15,850	16,420
	7月	15,960	16,270
	8月	15,100	16,290
	9月	14,800	15,770
	10月	14,900	15,700
	11月	15,120	15,180
	12月	15,000	15,900
	平成25年1月	15,000	15,990
2月	15,010	15,990	
3月	14,710	14,620	
25年産	4月	14,600	14,900

注: 平成25年4月30日現在。

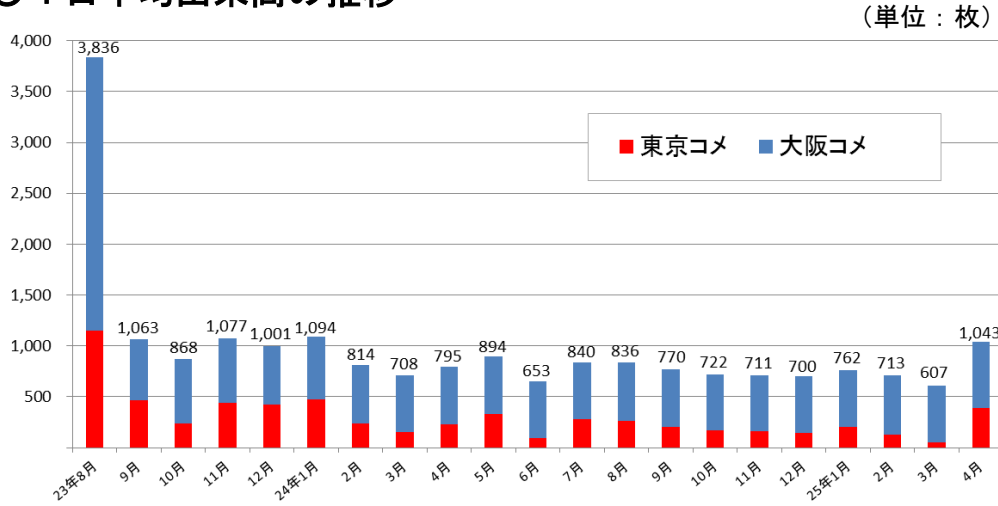
注1: 東京コメは東京受渡しの関東(茨城、栃木、千葉)コシヒカリ、大阪コメは大阪受渡しの北陸(石川、福井)コシヒカリの価格。いずれも1等、消費税抜き、運賃及び包装代を含む。

注2: 期先限月とは、現物受渡や売買取引の期限が、その時点から最も先となる月。

注3: 平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所(米穀)及び東京商品取引所(一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖)に移管されている。

(参考3) 米の先物取引の試験上場の動向②

○ 1日平均出来高の推移

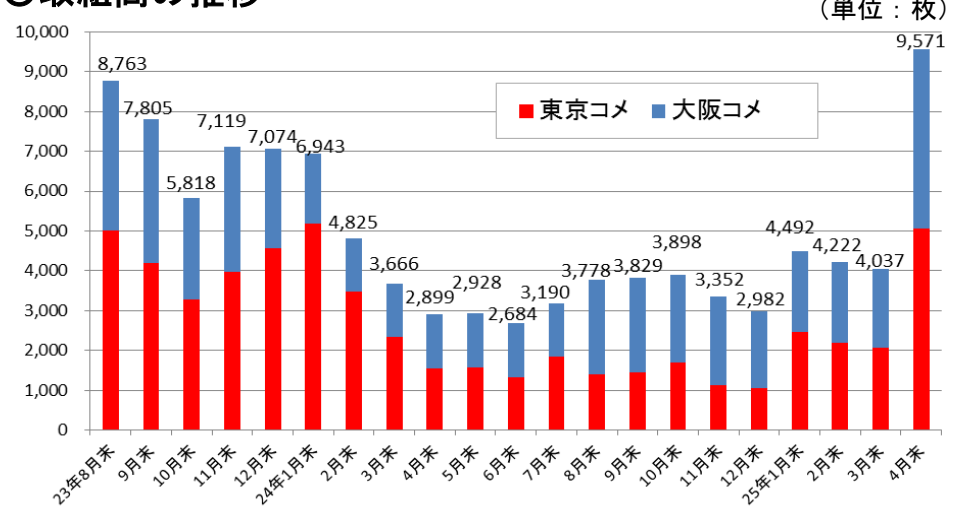


(参考) 米と他の商品 (東京商品取引所) の1日平均出来高 (単位: 枚)

	米穀		とうもろこし	大豆	小豆	粗糖
	東京コメ	大阪コメ				
23年8月	3,836	2,687	3,061	3,231	393	234
9月	1,063	595	3,026	3,493	365	166
10月	868	632	2,602	3,193	309	150
11月	1,077	640	2,303	2,722	467	244
12月	1,001	581	1,978	2,080	337	140
24年1月	1,094	623	1,824	1,748	443	188
2月	814	573	2,599	2,107	547	65
3月	708	557	1,921	1,992	585	150
4月	795	566	1,816	2,076	599	51
5月	894	565	1,545	1,686	592	74
6月	653	557	2,970	3,247	488	53
7月	840	556	7,626	7,611	240	86
8月	836	576	6,122	3,277	141	36
9月	770	564	4,119	2,514	198	63
10月	722	555	3,485	1,630	134	73
11月	711	549	1,940	1,233	169	145
12月	700	558	1,937	1,406	131	284
25年1月	762	557	2,196	1,259	123	202
2月	713	585	2,375	2,077	135	17
3月	607	554	1,235	923	83	11
4月	1,043	656	1,784	1,180	110	6

注1: 出来高とは、市場において成立した売買契約の数。
 注2: 取組高とは、市場において成立した売買契約 (将来売買する約束) のうち、まだ現物受渡や売り (買い) 戻しが行われず、市場に残っている売買契約の数 (売りと買いセットで1枚とカウント)。
 注3: 米については、東京コメは1枚6トン、大阪コメは1枚3トン。他の商品について1枚はとうもろこしは50トン、大豆は10トン、小豆は2.4トン、粗糖は10トン。ただし、粗糖は平成25年11月限以降は50トン。
 注4: 平成25年2月12日に、東京穀物商品取引所の農産物市場は、大阪堂島商品取引所 (米穀) 及び東京商品取引所 (一般大豆、とうもろこし、小豆及び粗糖) に移管されている。
 注5: 1日平均出来高は四捨五入しており、東京コメと大阪コメの計が米穀の値と一致しない場合がある。

○ 取組高の推移

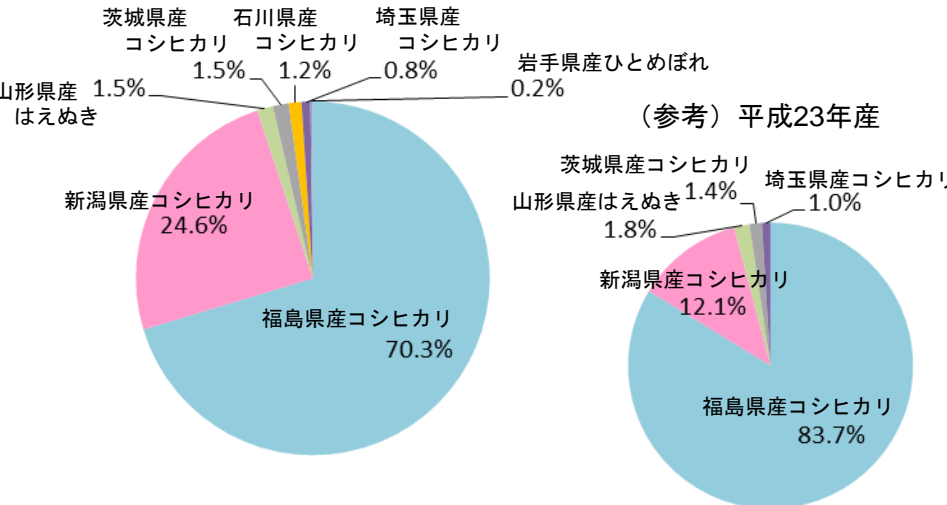


(参考) 米と他の商品 (東京商品取引所) の月末取組高 (単位: 枚)

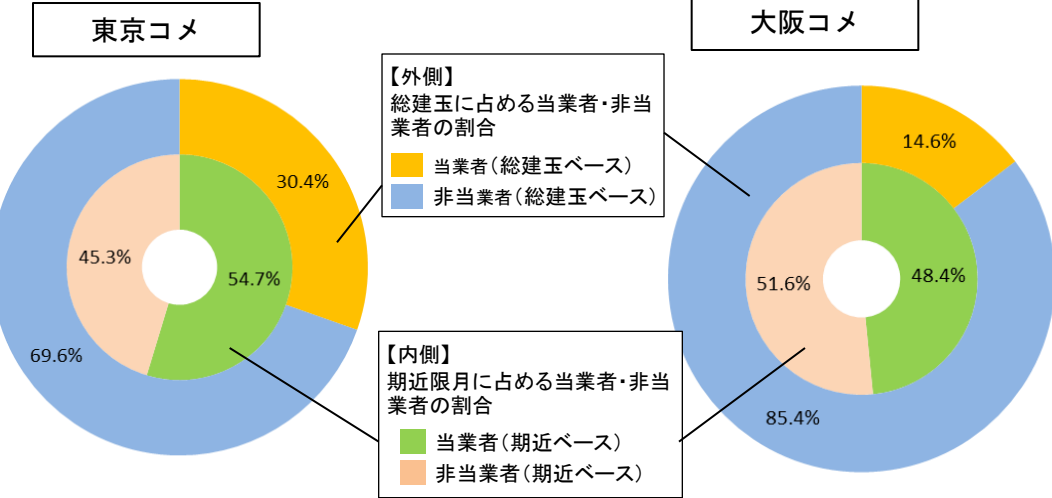
	米穀		とうもろこし	大豆	小豆	粗糖
	東京コメ	大阪コメ				
23年8月末	5,025	3,738	30,991	31,975	3,785	7,503
9月末	4,185	3,620	25,853	26,034	3,641	6,392
10月末	3,278	2,540	25,033	24,752	3,097	5,840
11月末	3,977	3,142	25,486	26,983	2,799	4,839
12月末	4,556	2,518	24,695	25,580	2,719	4,822
24年1月末	5,195	1,748	25,041	21,279	3,408	2,123
2月末	3,479	1,346	24,535	18,851	3,634	1,877
3月末	2,352	1,314	23,320	18,783	3,278	3,090
4月末	1,561	1,338	24,209	19,592	4,303	3,009
5月末	1,575	1,353	24,431	18,243	5,167	2,978
6月末	1,326	1,358	20,206	22,226	4,148	3,046
7月末	1,843	1,347	26,438	35,337	3,229	2,442
8月末	1,400	2,378	28,723	33,246	2,346	2,462
9月末	1,461	2,368	28,159	24,855	1,376	2,287
10月末	1,703	2,195	27,373	25,123	1,521	2,721
11月末	1,137	2,215	24,755	23,602	1,052	2,351
12月末	1,067	1,915	22,290	19,495	1,304	3,942
25年1月末	2,473	2,019	21,928	16,178	1,493	393
2月末	2,201	2,021	16,746	15,934	1,730	463
3月末	2,077	1,960	13,736	14,176	1,712	365
4月末	5,056	4,515	14,461	14,225	1,740	379

(参考3) 米の先物取引の試験上場の動向③

○現物受渡量



○取引参加者の割合 (各月末平均値)



銘柄	取引枚数 (玄米重量)		
	東京コメ	大阪コメ	合計
コシヒカリ(福島県産)	334枚 (2,004トン)	299枚 (897トン)	633枚 (2,901トン)
コシヒカリ(新潟県産)	132枚 (792トン)	74枚 (222トン)	206枚 (1,014トン)
はえぬき(山形県産)	10枚 (60トン)	-	10枚 (60トン)
コシヒカリ(茨城県産)	8枚 (48トン)	4枚 (12トン)	12枚 (60トン)
コシヒカリ(石川県産)	-	16枚 (48トン)	16枚 (48トン)
コシヒカリ(埼玉県産)	-	11枚 (33トン)	11枚 (33トン)
ひとめぼれ(岩手県産)	-	3枚 (9トン)	3枚 (9トン)
平成23年8月8日以降の累積値	484枚 (2,904トン)	407枚 (1,221トン)	891枚 (4,125トン)

		東京コメ		大阪コメ		合計	
		当業者	非当業者	当業者	非当業者	当業者	非当業者
各月末平均値	総建玉に占める割合	30.4%	69.6%	14.6%	85.4%	21.1%	78.9%
	期近限月に占める割合	54.7%	45.3%	48.4%	51.6%	56.5%	43.5%
平成25年2月末	総建玉に占める割合	15.5%	84.5%	15.1%	84.9%	15.3%	84.7%
	期近限月に占める割合	79.2%	20.8%	83.3%	16.7%	81.0%	19.0%
3月末	総建玉に占める割合	16.0%	84.0%	15.3%	84.7%	15.6%	84.4%
	期近限月に占める割合	61.2%	38.8%	83.3%	16.7%	70.3%	29.7%
4月末	総建玉に占める割合	6.7%	93.3%	20.2%	79.8%	13.0%	87.0%
	期近限月に占める割合	17.1%	82.9%	83.3%	16.7%	27.6%	72.4%

注1: 取引所において把握している当業者・非当業者の割合。
 注2: 総建玉とは、市場において成立した売買契約のうち、まだ現物受渡や売り(買い)戻しが行われず、市場に残っている売買契約の総数(売りと買いそれぞれ1枚とカウント)。また期近限月とは、現物受渡や売買取引の期限がその時点から最も近い月。
 注3: 当業者とは、米の売り、売買の媒介、取次ぎ若しくは代理、生産、加工又は使用を業として行っている者(生産者、卸・小売業者、米加工品製造業者、外食事業者等)。
 注4: 総建玉に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年8月以降の各月末平均値。期近限月に占める当業者・非当業者の割合は、平成23年12月以降の各月末平均値。

注: 平成25年4月末までの累積値。

○大阪堂島商品取引所の米の試験上場の概要

	東京コメ	大阪コメ
1 標準品(取引の対象)	➢コシヒカリ(茨城・栃木・千葉)	➢コシヒカリ(石川・福井)
2 受渡供用品	<ul style="list-style-type: none"> ➢コシヒカリ(全国) ➢ひとめぼれ(東北) ➢あきたこまち(秋田) ➢はえぬき(山形) ➢きらら397、ななつぼし(北海道) ➢つがるロマン、まっしぐら(青森) 	➢コシヒカリ(全国)
3 取引期間	➢受渡期限の到来は最長で6ヶ月先(6ヶ月以内の各月渡し)	
4 取引単位	➢100俵(6トン)／枚	➢50俵(3トン)／枚
5 値幅制限	(板寄せ方式) ➢前日の終値からの値動き±300円で取引停止。 ➢終値が値幅制限に達した限月が2以上あった場合は翌日より段階的に値幅を±400円、±500円に拡大。 ➢最終節に値幅制限に達した限月が2以上ない場合は、翌日より段階的に値幅を±400円、±300円に戻す。	
6 建玉制限(たてぎょくせいげん) 1人当たりの取引量制限	一般委託者 ➢1番限(ぎり):300枚(1千8百トン) ➢2番限:500枚(3千トン) ➢3番限:1,000枚(6千トン) ➢その他:2,000枚(1万2千トン) ※当業者は上記の建玉制限を 緩和	一般委託者 ➢1番限(ぎり):100枚(3百トン) ➢2番限:350枚(1千50トン) ➢3番限:500枚(1千5百トン) ➢4番限:1,500枚(4千5百トン) その他:2,000枚(6千トン) ※当業者は上記の建玉制限 を緩和
7 開設期間	➢ 取引開始から2年間	

注：板寄せ方式とは、全ての売り買いの注文を調整し、一本の価格に収斂させるセリ方式。

(参考2) 米の先物取引の試験上場の動向⑤

○米の試験上場に係る主なスケジュール

平成23年

3月8日	東京穀物商品取引所及び関西商品取引所が2年間の試験上場の認可申請
3月25日	官報公示(3か月の縦覧期間)
7月1日	試験上場認可
8月8日	取引開始

平成25年

8月7日	試験上場期間(2年間)終了 (ただし、2年経過前に取引を開始している限月に限り取引を継続することができる。)
------	-----------------------------------------------------------